

ALTは多言語！

バイリンガルALTの
現状と課題

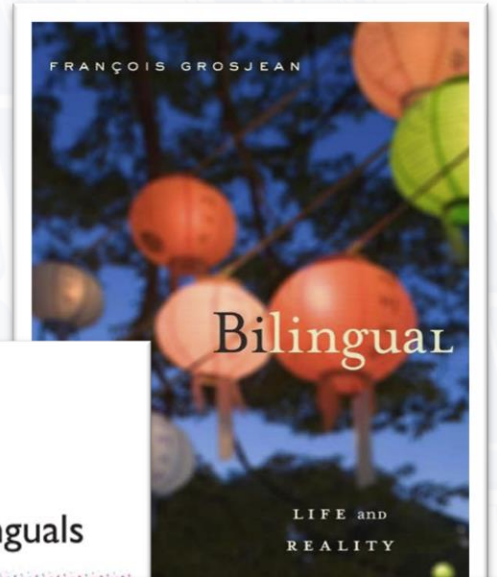
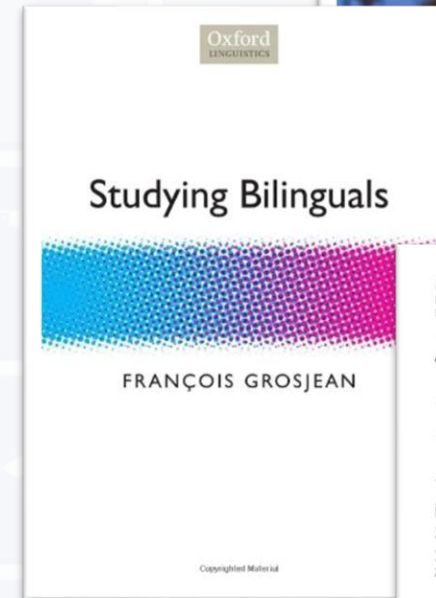
(English Slides follow
Japanese)



バイリンガルの定義

「2(+)言語併用話者」

バイリンガル話者の言語使用や言語習得の経験は、モノリンガル話者と根本的に異なるものである。バイリンガル=1人の人物の中に2人のモノリンガルが入っているわけではない（Grosjean, 2008）。





- ① **バイリンガルALTの実態を知る**
- ② **ALTの多様性を意識する**
- ③ **バイリンガルALTとの授業の可能性を考える**

1. 制度がALTに無関心？

2. バイリンガルALTの実態

3. バイリンガルALTの現状と課題

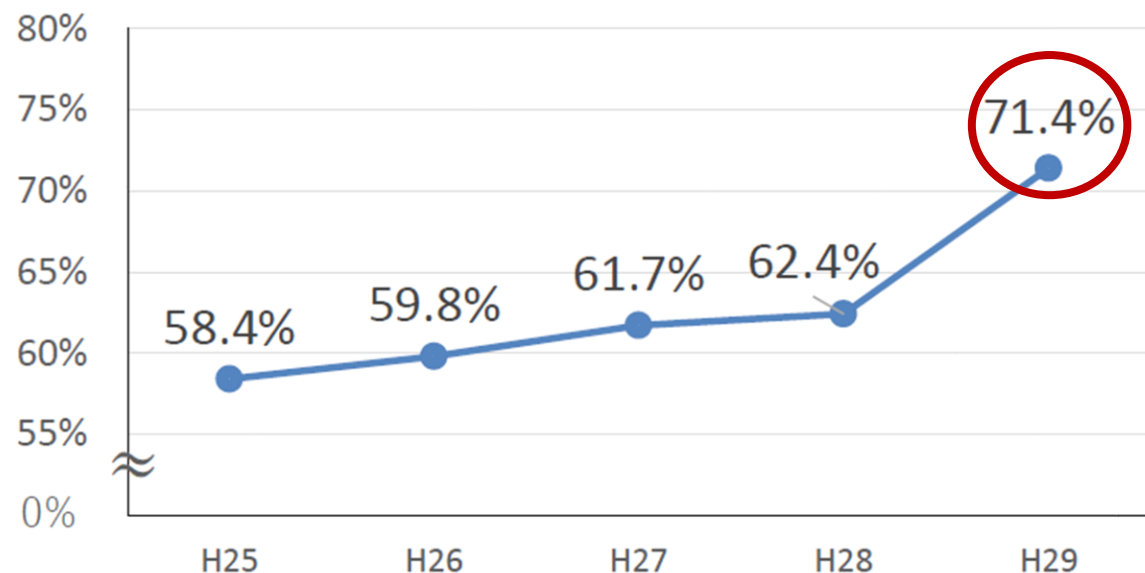
4. ALTの言語リソースを生かす意義



1. 制度がALTに無関心？



ALTを授業で活用する時数の割合の推移



※小学校5・6年生の外国語教育においてALT(JETプログラム、自治体の直接任用、労働者派遣契約、請負契約によるALT)が活用されている時数の割合。

※小学校5年生(71.4%)、小学校6年生(71.4%)。

※「総合的な学習の時間」や「特別活動」において外国語に触れる時間は含めない。

(文部科学省、2018b)

ALTは7割以上の外国語の授業に参加していて、非常に重要な存在。
しかし、政策文書等にはほとんど取り上げられない。



指導要領の唯一の言及：

学級担任の教師又は外国語を担当する教師が指導計画を作成し，授業を実施するに当たっては，ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等，指導体制の充実を図るとともに，指導方法の工夫を行うこと。

(文部科学省、2017b、p.162/177)

ALT(?)に関する言及が中学校・高等学校指導要領と 同一の文章

(文部科学省2017d, p. 151; 2018, p. 178/473)

ALTに 求められる役割

- 学級担任等とともに、活動の仕方を示す
- 単元に合った自国の文化や生活等について紹介し、児童とインタラクションしながら、お互いの国の様子や ALT 自身について知ってもらう
- 児童のつぶやきや気付きを、児童から直接、または、学級担任等を介して受け取り、易しい英語やジェスチャーを使って分かり易く示す
- ネイティブ・スピーカーの正しい発音を繰り返し聞かせる
- 学習した英語を使って児童と会話する
- 評価について分担して行い、振り返りの活動では、児童の活動の様子について技能面を中心にほめる

(文部科学省、2017a, pp.109-110)

ALTや留学生，地域に住む外国人など，異なる文化をもつ人々との交流などを通して，体験的に文化等の理解を深めることが大切になる。

(文部科学省、2017c, p.27)



ALTに二重の役割が期待されている:

- ① 言語(英語)エキスパート**
- ② 海外文化インフォーマント**



教室にいるALT たち

- ・70%以上のクラスに参加
- ・言語・文化的役割を担っている

制度上の ALT

- ・~~教員養成課程にALTとのTTはほとんど取り上げられていない~~
(松本、2020)
- ・指導要領等の資料において:
 - ・どのようにTTをすればいいか、言及ほとんどなし
 - ・ALTとはどのような存在か、言及ほとんどなし

7割以上の授業に参加しているにも関わらず、
制度上ALTがほぼ透明人間になっている

資料等に言及があっても、一貫して「ネイティブスピーカー」になっている。



ALTは英語母語話者だけではない

英語母語話者以外のALTな年々増加して、研究にも取り上げられている(例えば、Mahoney, 2020; 杉本・山本, 2019)。

(特にタガログ語母語話者ALTが急激に増えてい：Kano, et. al, 2016)

ある大規模調査によれば、小学校のALTの約26%が英語圏以外の国から来ており、32%が英語以外の言語を母語としている(上智大学、2017)。

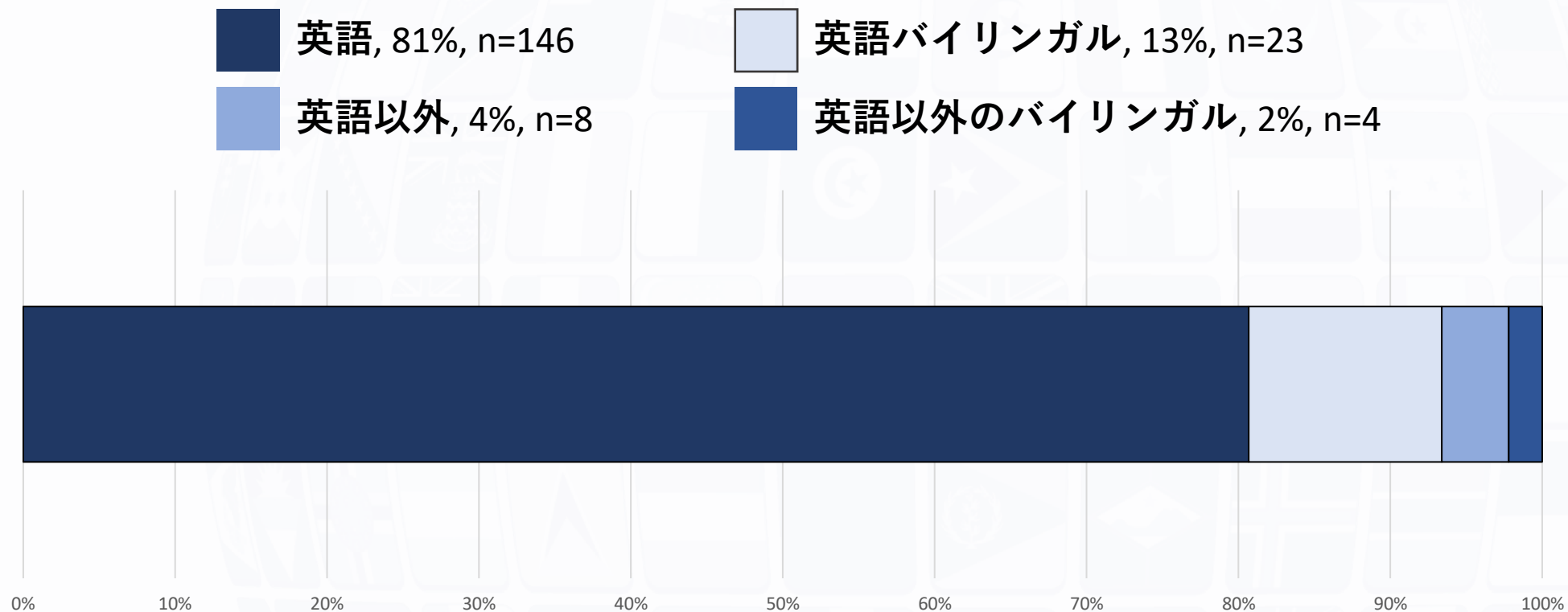


2. バイリンガルALTの実態

181人のALTの調査に基づくデータ (Pearce, 2021)



ALTの母語

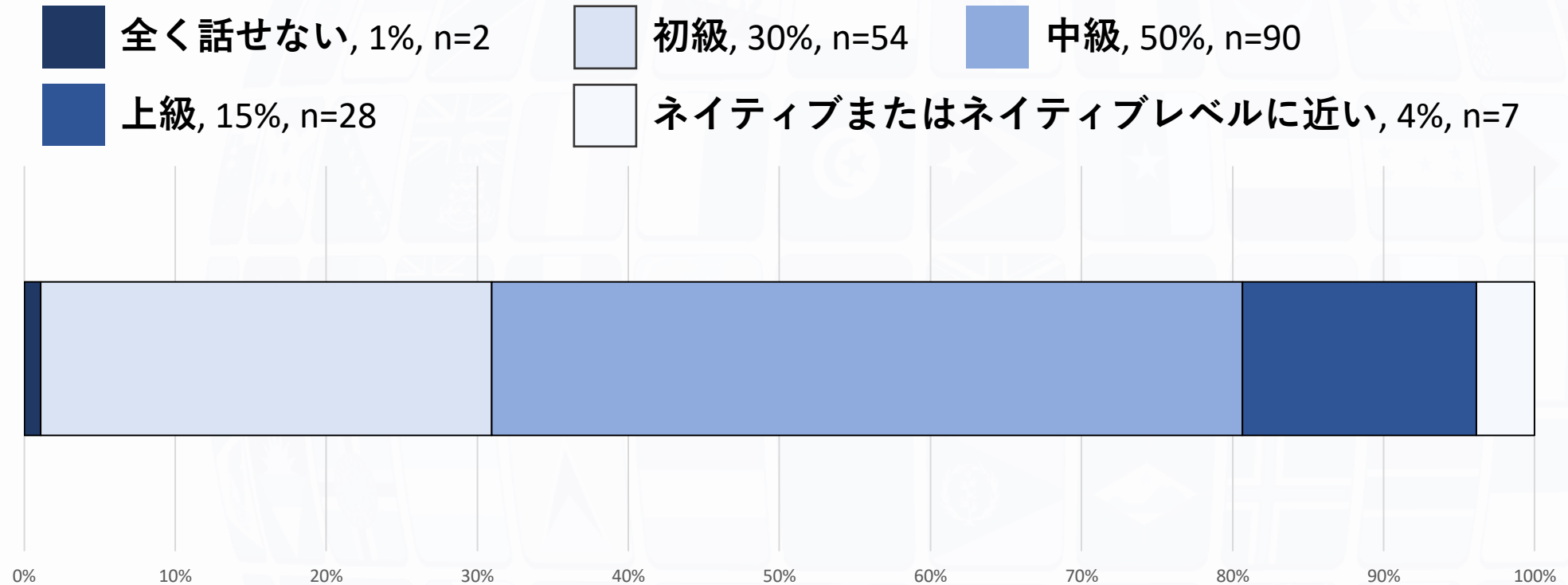


英語 (モノリンガル) 母語話者が圧倒的大多数

* すべての回答が自己報告



ALTの日本語力



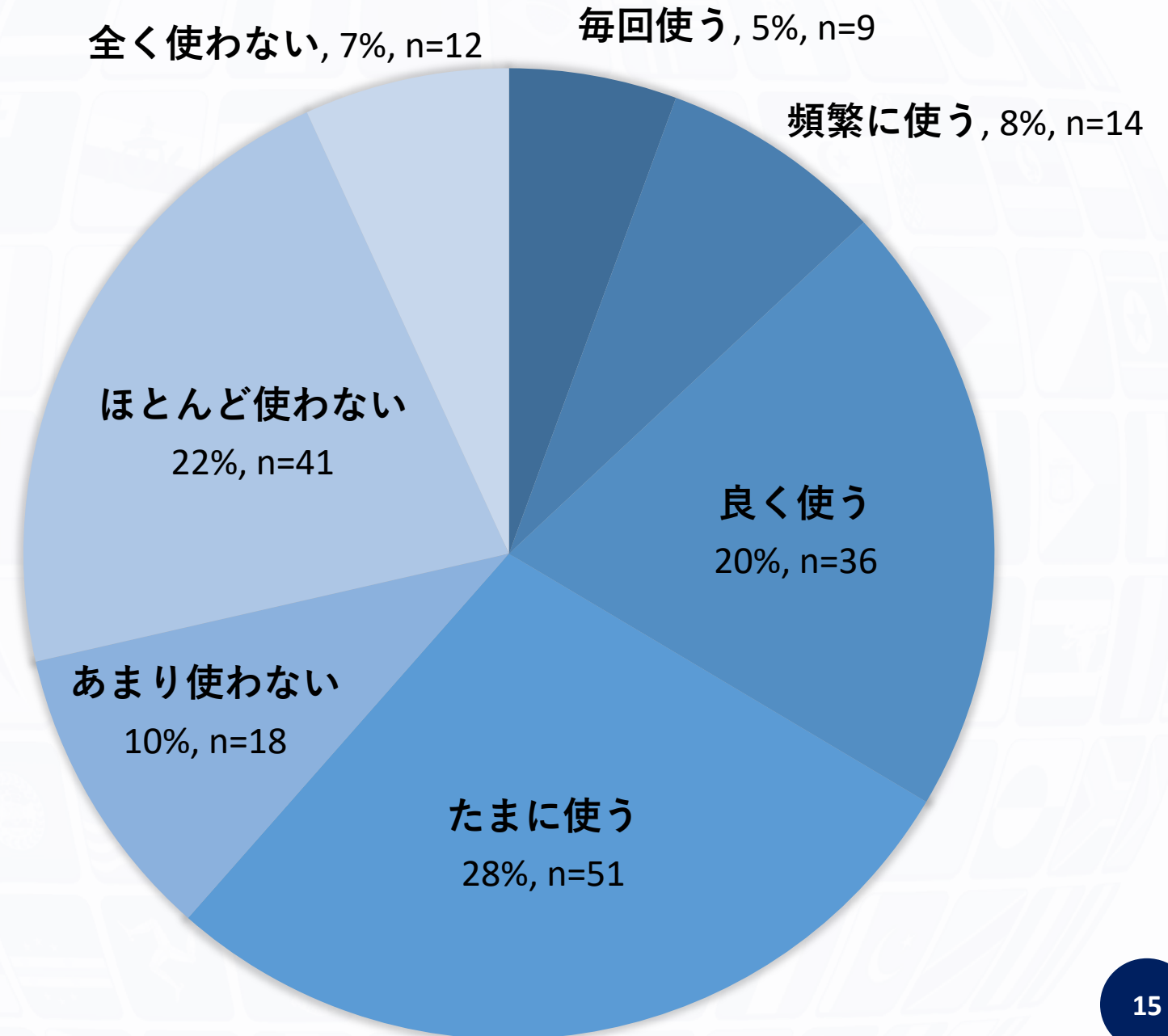
ほとんどのALTがある程度の日本語力を有する

*すべての回答が自己報告



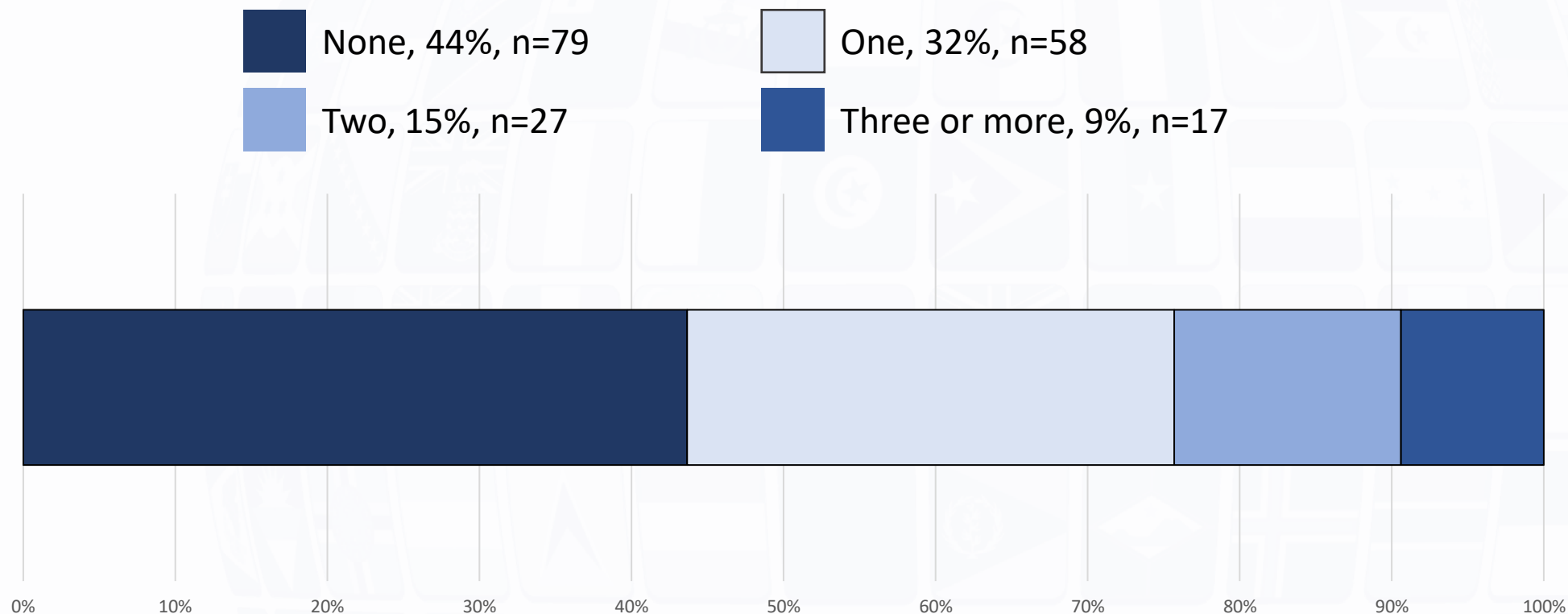
授業では日本語を
どのくらいの頻度
で使いますか？

半分近く（48%）が
「たまに使う」
「良く使う」





日本語と英語以外に使用できる言語



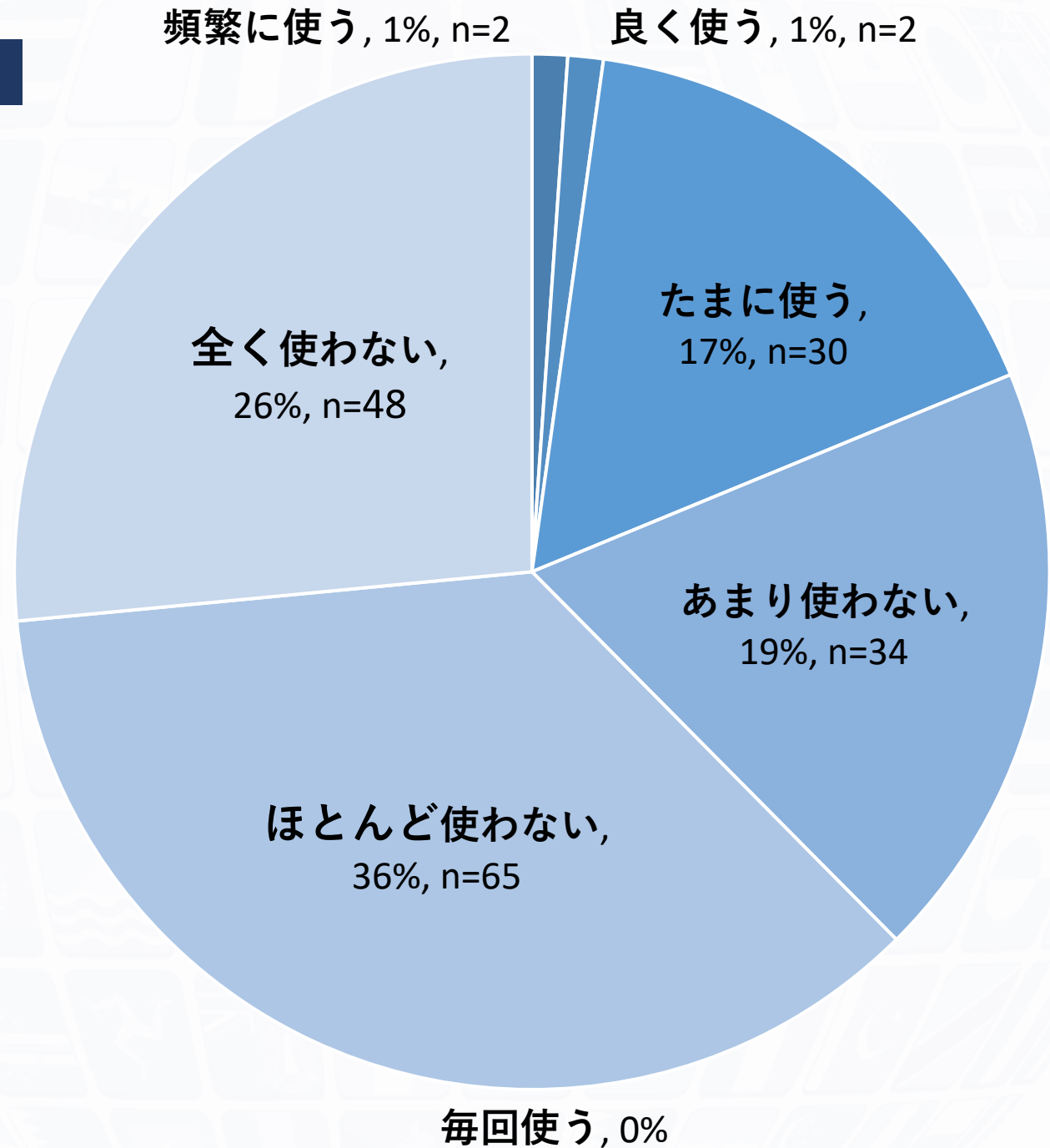
**英語・日本語以外の言語が使用できるALTが多数
(57%)**

* すべての回答が自己報告



授業では日本語と英語
以外を、どのくらいの
頻度で使いますか？

8割（82%）が
「全く使わない」
「ほとんど使わない」
「あまり使わない」





I teach greetings in multiple languages in our lessons about other countries. I also teach the song Feliz Navidad in December. I feel this is too surface level, and I'd like to do more. I wish HRTs would encourage this more too.

他の国についてのレッスンでは、多言語での挨拶を教えています。12月にはFeliz Navidadという歌も教えています。これはあまりにも表面的なことなので、もっとやってみたいと思っています。学級担任ももっと奨励してほしいです。

ALTがもっと言語的多様性を導入したい

小学校外国語は、「英語ONLY」にとらわれ、 言語レパートリーをフルに生かせていない状況

しかし、指導要領解説では…

世界には英語以外の言語を話す人々も多い。そのことから、
世界の人々を理解するには、英語以外の言語を使う人々の
日常生活も取り上げることが大切である。（文部科学省、
2017c: 134)

**英語以外の言語を隠すことで、世界の人々を理解できるか？
せっかくあるリソースを生かした方が豊かな学習を促せるのでは？**



3. バイリンガルALTの現状と課題

8人のALTのインタビュー調査に基づくデータ（ピアース 2021）



インタビュー対象

氏名	性別	勤務年数	出身国	母語	母語以外の言語
May	女	3	フィリピン	タガログ語・英語	日本語（中級）
Josh	男	10+	米国	英語	日本語（ネイティブレベル）、ルーマニア語（初級）、フランス語（初級）、スペイン語（初級）、韓国朝鮮語（初級）
Célia	女	2	フランス	フランス語・英語	日本語（中級）、スペイン語（上級）
Luuk	男	5	オランダ	オランダ語	日本語（上級）、英語（ネイティブレベル）
Angel	女	3	シンガポール	英語	中国語（上級）、韓国朝鮮語（中級）、フランス語（初級）
Martin	男	10+	米国	英語	フランス語（中級）、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、スウェーデン語（初級）、手話
Logan	男	10+	カナダ	英語・ウクライナ語	フランス語（中級）、ドイツ語、スペイン語（初級）
Zain	男	5	米国	イタリア語・英語	日本語、ドイツ語、スペイン語（上級）



インタビューから4つのテーマが抽出された:

- ①「英語」
- ②「その他の言語」
- ③「文化」
- ④「教育的信念」



会話のモデルとなるようなものがたくさんあって、先生と自然なスピードでの会話を実際に見せようとして
います。(Angel)

スモール・トークというのは、ここ数年の間に授業に取り入れられてきたものです。(Josh)

たぶん最後の10分で、その日学んだキー・センテンスをひとつ書かせるような紙を先生が用意しているので、
私は直接かかわらない。(May)

先行研究と同様、ALTとのTT授業はスピーキング活動が中心

...英語は一つではないということを、理解してもらおうとしてるんです。たとえば時々、英語の単語を発音
したあとに、「あれ、こんな音だったっけ？」と自分で言ったりして。(Célia)

児童には、いろんな英語があるんだよと、私がアメリカ人だからって、私の真似をしてそっくりの音を出さ
なきゃいけないとか、そういう心配はしないでねって、好んでよく言うんです。(Martin)

World Englishes (英語の中の多様性)を意識している



時々、オランダ語を少し入れたりしますね。そしてその、この"g"の音、どうやって出してるのか、考えてみてもらいます。あるいはドイツ語を少し入れたりですね、私はドイツ語も、児童に印象付ける程度にはできるので、あるいはフランス語も (Luuk)

英語だけで挨拶しても、飽きてくるから、色々な言語を混ぜて挨拶したりしています。(Célia)

音声の特徴に気づいてもらうために導入しているALTもいる

(学級担任がやらなくてはいけない) 授業がたくさんあったら、たぶん先生たちはそんな余分なことは聞かないでしょうし、タガログ語でどう数えるかとか、フランス語でどう数えるか、なんて教えないでしょう。でも、もし時間の余裕があって、あとオープンな先生だったら、教えたいと思うんじゃないでしょうか。全員がそうとは限りません。何度も言いますがやっぱりそれは先生によるので。 (May)

時々、ほんの少しだけ教科書に載っていることもあります。だから、「外国語活動」と呼ばれているんですよね、実際には英語の授業だけだけど。でも、教科書の最初のほうでは各国の挨拶やら国旗が載ってるのはしています。といってもそれってまだまだ初歩的なことですけどね。(Luuk)

- ① 他言語の導入は学級担任やに教科書内容に左右される
- ② 教科書における言語の多様性は表面的である



シンコ・デ・マヨの話をして、南米とアメリカの両方でそれがどんな風に祝われているのかを話します。かなり違う祝い方をしますからね。(Célia)

Hi Friends の教科書では、単に絵がいっぱいあるだけで、内容があんまりないんですよ。(Angel)

...ここで大事なことは、外国人としてそこにいる、ということです。小さな子供たちが、日本の外にはすごく広い世界があるってことを知るのを助けること。そして、子どもたちが思っていることに疑問を持ったり、外国人というのは教科書に載っているような人ばかりではないことに気づくこと。そして、私の国もそうですけど世界の他の場所への興味を高めてもらうことです。(Angel)

- ① 他言語より、多文化には少し自由度が高い
- ② (言語と同様)教科書における異文化に関する内容は表面的である



テーマ：教育的信念

日本人には、外国人はアメリカ人で、あるいは外国人は白人のアメリカ人だと思ってる人もいます。それは変わってほしいところです。 (May)

目標は英語を教えることではなく、将来英語を学びたいと強く思わせることです。 (May)

言語習得について読んだんですけど、幼少期に耳にする音が非常に重要だと、そうじゃないとある種の音は聞き取れなくなると。だから、いろんな言語の音に触れさせた方がいいのではないかと思います。 (Luuk)

児童にもっと多くの言語を紹介するのはいいことだと思います。たくさんの言語を全部マスターする必要はないですが、どれか外国語を学びたいと思ったときのために、一般的な知識を増やしたり、さまざまな言語への興味を増やしてあげるのに役立つと思いますね。 (Angel)

言語を教えることが目的ではないと思うんですよ。大事なのは、言語を学ぶための方法を教えることだと思います。好奇心を育むべきで、言語習得のスキルを育むべきなのであって、言語を教えることではない。子どもたちの脳は今、物事を学ぶ方法を学ぶようにできてるからです。これは外国語だよ、これは英語だよ、これは違う言語で「私」と言う言い方だよ、というだけではダメだと思うんですが、何しろ私たちがやっていることはそれなんですよ。ね。 (Zain)

教育的信念はさまざまであるが、英語のモデルをするだけでなく、言語・文化的多様性をより重視してほしいという考え方が共通している



- ① バイリンガルALT多様性を意識して、もっと取り入れたがっている。
- ② 学級担任が多言語・多文化に対して積極的でないと、ALTの力だけではなかなか生かせない
- ③ 教科書に取り上げられるときのみが多言語・多文化に触れる(教科書の縛りがある)
- ④ もっと積極的に入れたいが、教育的に導入する方法がわからない



4. ALTの言語リソースを生かす意義



指導要領の「目標」には:

「日本語と外国語との違いに気付く」
「外国語の背景にある文化への理解を深める」

(文部科学省、2017b p.156)

**英語中心に授業を展開しても問題はないが、
English-onlyに縛られる必要はない**



- ① モノリンガルが多様な言語に触れることで、後の言語習得が促進される(Bice & Kroll, 2019)。
- ② 「多様性への興味」、「よく知らないものへの開かれた態度」、「言語を学習する意欲」、「音素の記憶と弁別能力」を育成するのに複数言語を取り入れた「多元的アプローチ」が有効(Candelier, 2003)。
- ③ 多元的アプローチはすでに日本の小学校では注目されはじめていますが・・・(大山、2019; Oyama & Pearce, 2019)

ALTとのTTで多元的アプローチの在り方がまだ検討されていないので、今後の課題となります。



どのような活動が考えられる？

- ・文化面:ALTには英語圏以外の文化を紹介するとともに、関連するキーワード等
- ・英語圏以外の国における英語の使用に関する情報提供(どのような特徴があるか、社会的位置づけはどうなっているか、日本との比較など)
- ・「言語景観」(Melo-Pfeifer & Lima-Hernades, 2020)などの、日本とALTの国における看板等の言語表記の比較を通して、社会言語学的な考察を行う
- ・ALTと学級担任が児童と一緒に学習者になり、様々な言語を通して、言語について学んでいく
- ・いろんな活動を通して、言語学習と同時に、メタ言語知識を身に着ける活動が考えられる



ALTの多言語を授業に導入するにあたって、最低条件は？

- ① 学級担任がALTの背景を知ること(十分に知る機会を確保する必要がある)。
- ② 学級担任・ALT両方とも他言語を導入する意義を理解し、共有する必要がある。
- ③ 授業実施に当たっては、十分に打ち合わせができること。

十分に準備ができたなら、バイリンガルALTのと授業で

- ①「日本語と外国語との違いに気付く」、「外国語の背景にある文化への理解を深める」ことと、②英語以外の言語を使う人々の日常生活も取り上げること（文部科学省、2017a/b） **が、一石二鳥？**

参考文献

- 大山万容 (2019). 「小学校英語のための教員養成における複言語教育」 *JES Journal* 19, 36–51.
- 狩野晶子・尾関はゆみ (2018) 「小学校ALTから見た小学校外国語活動の現状と課題」 『*JES Journal*』 18, 116–131.
- グロジャン・フランソワ著, 西山教行, (監訳), 石丸久美子, 大山万容, 杉山香織(訳) (2018). 『バイリンガルの世界へようこそ—複数言語を話すということ』 勁草書房
- 上智大学 (2017) 『小学校・中学校・高等学校におけるALTの実態に関する大規模アンケート調査研究：最終報告書』 https://www.bun-eido.co.jp/aste/alt_final_report.pdf
- 杉本均・山本陽菜 (2019) 「日本におけるフィリピン人外国語指導助手 (ALT) の雇用問題—外国青年招致事業 (JET) などを中心に—」 『京都大学大学院教育学研究科 紀要』 65, 179–200.
- ピアース・ダニエル・ロイ (2021). 「小学校の外国語指導助手 (ALT) はモノリンガルか?—単一言語教育に従う複言語話者の位相—」 『言語政策』 17 号
- 松本哲彦 (2020年8月) 「日本における初任英語教員1年目の経験と成長」 2020年度MHB学会 (オンライン開催)
- 文部科学省 (2016) 平成27年度公立小学校における英語教育実施状況調査の結果について
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/fieldfile/2016/04/05/1369254_4_1.pdf
- 文部科学省 (2017a) 小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm
- 文部科学省 (2017b) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示)
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/fieldfile/2018/09/05/1384661_4_3_2.pdf
- 文部科学省 (2017c) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説：外国語活動・外国語編
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/fieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf
- 文部科学省 (2017d) 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/fieldfile/2018/05/07/1384661_5_4.pdf
- 文部科学省 (2018a) 高等学校学習指導要領 (平成30年告示) https://www.mext.go.jp/content/1384661_6_1_3.pdf
- 文部科学省 (2018b) 平成30年度英語教育実施状況調査 (小学校) の結果 https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm
- 吉村雅仁・アンドレアヤング (2016) 「小学校外国語にかかわる教員研修への複言語主義の導入—その意義と研修モデルの構想—」 『次世代教員養成センター研究紀要』 2, 87–95.
- Bice, K. & Kroll, J. F. (2019). English only? Monolinguals in linguistically diverse contexts have an edge in language learning. *Brain and Language*, 196, 104644. doi: <https://doi.org/10.1016/j.bandl.2019.104644>
- Candelier, M. (2003). *L'éveil aux langues à l'école primaire. Evlang: Bilan d'une innovation Européenne*. Brussels, Netherlands: De Boeck. doi: [doi: doi. org/10.3917/dbu.cande.2003.01](https://doi.org/10.3917/dbu.cande.2003.01)
- Grosjean, F. (2008) *Studying bilinguals*. Oxford: Oxford University Press.
- Grosjean, F. (2010) *Bilingual: Life and Reality*. Harvard University Press
- Kano, A., Sonoda, A., Schultz, D., Usukura, A., Suga, K., & Yasu, Y. (2016). Barriers to effective team teaching with ALTs. In P. Clements, A. Krause, & H. Brown (Eds.), *Focus on the learner* (pp. 74–82). Tokyo: JALT.
- Mahoney, S. (2020). A new era: Non-native English-speaking assistants. *JES Journal*, 20, 210–225.
- Melo-Pfeifer, S. & Lima-Hernandez, M. C. (2020). Apresentação. Paisagens Linguísticas: ideologias, discursos e práticas multilíngues nos espaços sociais. *Domínios de Linguagem*, 14 (4), 1024–1058.
- Oyama, M., & Pearce, D. R. (2019). Promoting bilingualism in Japanese elementary schools: Exploring the possibilities of the awakening to languages approach. *Japan Journal of Multilingualism and Multiculturalism* 25(1), 65–86.
- Pearce, D. R. (2021). Homogenous representations, diverse realities: Assistant language teachers at elementary schools. *The Language Teacher*, 45(3), 3–11.
<https://doi.org/10.37546/JALTTLT45.3-1>

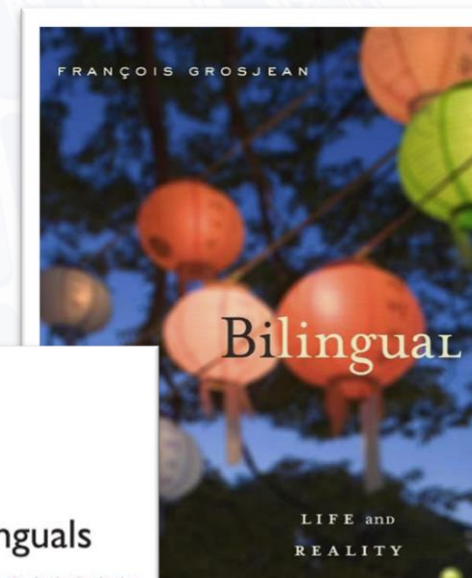
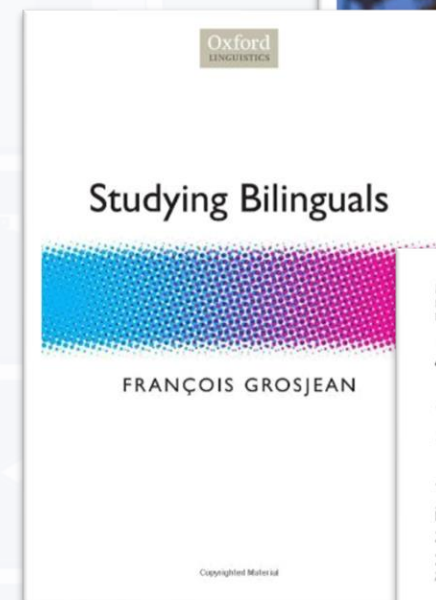
ALTs are Multilingual!

**Realities and
Current Issues with
Bilingual ALTs**



Definition of ‘Bilingual’

Bilinguals are those who use two or more languages (or dialects) in their everyday lives
(Grosjean, 2010, p. 4)





- ① Understand the Bilingual Situations of ALTs**
- ② Increase Awareness of ALT Diversity**
- ③ Consider Possibilities for Team Teaching with Bilingual ALTs**

1. Policy Indifferent toward ALTs?

2. Bilingual Reality of ALTs

3. Bilingual ALTs: Issues

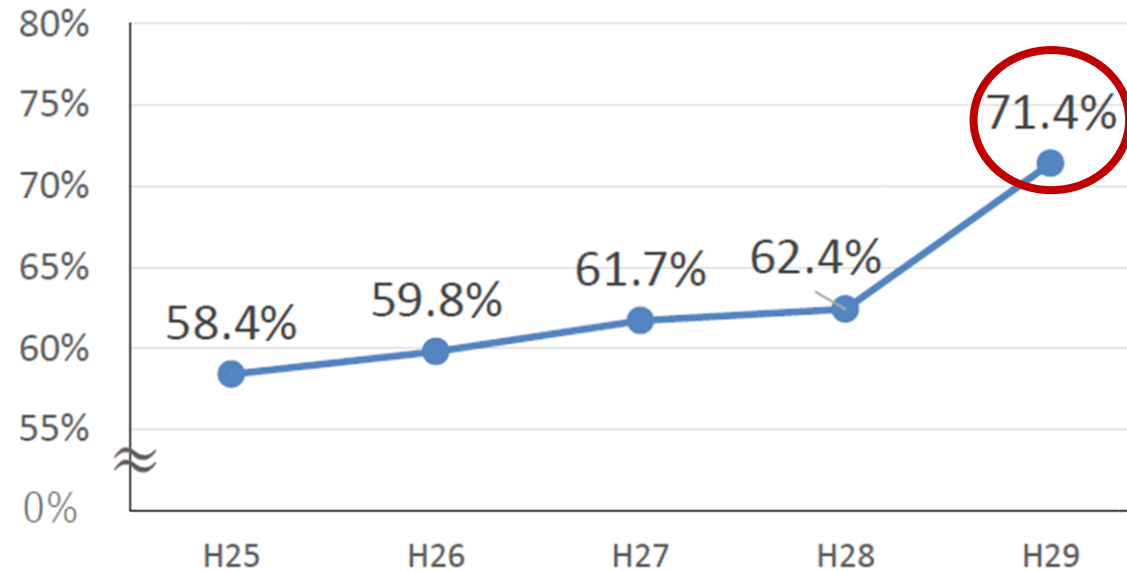
4. The Significance of ALTs Languages for Teaching

The background of the slide features a stylized globe composed of a grid of small, rounded squares. Each square contains a different national flag, creating a mosaic of global symbols. The globe is centered and occupies most of the frame. In the foreground, a white rectangular box with rounded corners and a thin black border is positioned horizontally. This box contains the main text of the slide. Below the white box, there is a solid blue horizontal bar that spans the width of the slide, partially overlapping the bottom of the white box.

1. Policy Indifferent toward ALTs?



ALTを授業で活用する時数の割合の推移



Although ALTs participate in over 70% of foreign language classes, there is little mention of them in policy documents.



Only mention of ALTs in the (elementary) Course of Study:

Classroom teachers or teachers in charge of foreign languages should prepare instructional plans and conduct classes with the cooperation of **native English speakers and local people who are fluent in English**, in order to improve the instruction and devise teaching methods.

(文部科学省、2017b、p.162/177)

References to ALTs (?) in the JHS/SHS courses of study
use **identical wording**.

(文部科学省2017d, p. 151; 2018, p. 178/473)



Expected roles of ALTs

- Alongside the HRT, demonstrate how to conduct activities
 - Introducing life and culture of their home country relevant to the current unit, and learn about the students' country through interaction
 - Pick up on students' comments and noticing directly, or with the assistance of the HRT, and reply with easy English and gestures
 - Repeat and have students listen to the correct native-speaker pronunciation
 - Engage in conversation with the students using English they have learned
-

(MEXT, 2017a, pp.109-110)

It is important to deepen the understanding of culture through experience by interacting with people from different cultures, such as ALTs, international students, and foreigners living in the community.

(MEXT, 2017c, p.27)



ALTs have a dual role:

- ① Language (English) Expert**
- ② Foreign Culture Informant**



ALTs in the classroom

- Participate in over 70% of classes
- Have a dual language/culture role.

ALTs in policy

- Team teaching is practically non-existent in teacher training programs (松本、2020)
- In the Courses of Study etc. :
 - Almost no reference on *how* to team teach
 - Almost no reference to *who* ALTs are

Despite being involved in over 70% of classes,
ALTs are practically invisible in policy

When ALTs *are* mentioned, they are labelled ‘native speakers.’



ALTs are not just English native speakers

The number of non-native English-speaking ALTs is increasing every year and is being addressed in research (e.g., Mahoney, 2020; 杉本・山本, 2019).

(In particular, the number of native Tagalog-speaking ALTs has been increasing rapidly: Kano, et. al, 2016).

According to one large survey, about 26% of ALTs in elementary schools come from non-English speaking countries, and 32% have a language other than English as their mother tongue (上智大学、2017).

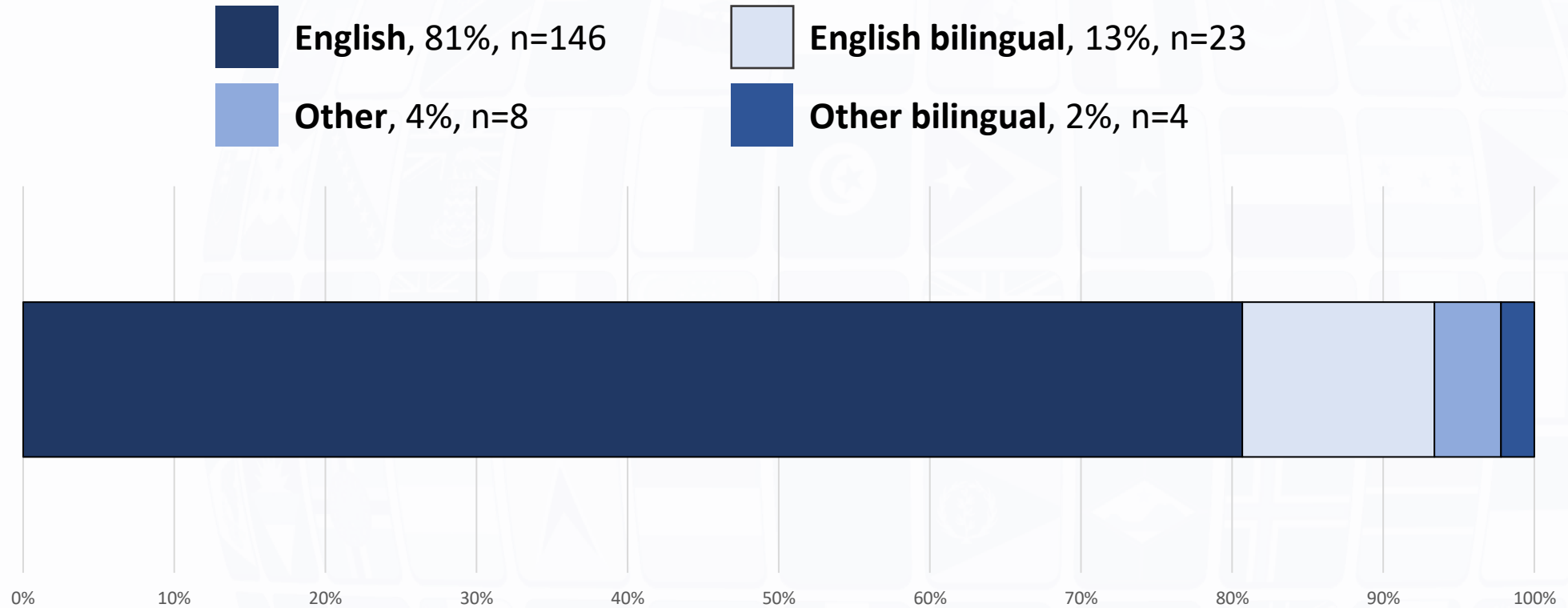
The background of the slide features a stylized globe composed of a grid of small, rounded squares. Each square contains a different national flag, creating a mosaic of global symbols. The globe is centered and occupies most of the frame.

2. Bilingual Reality of ALTs

Based on data from a survey of 181 ALTs (Pearce, 2021)



ALTs Mother Tongue(s)

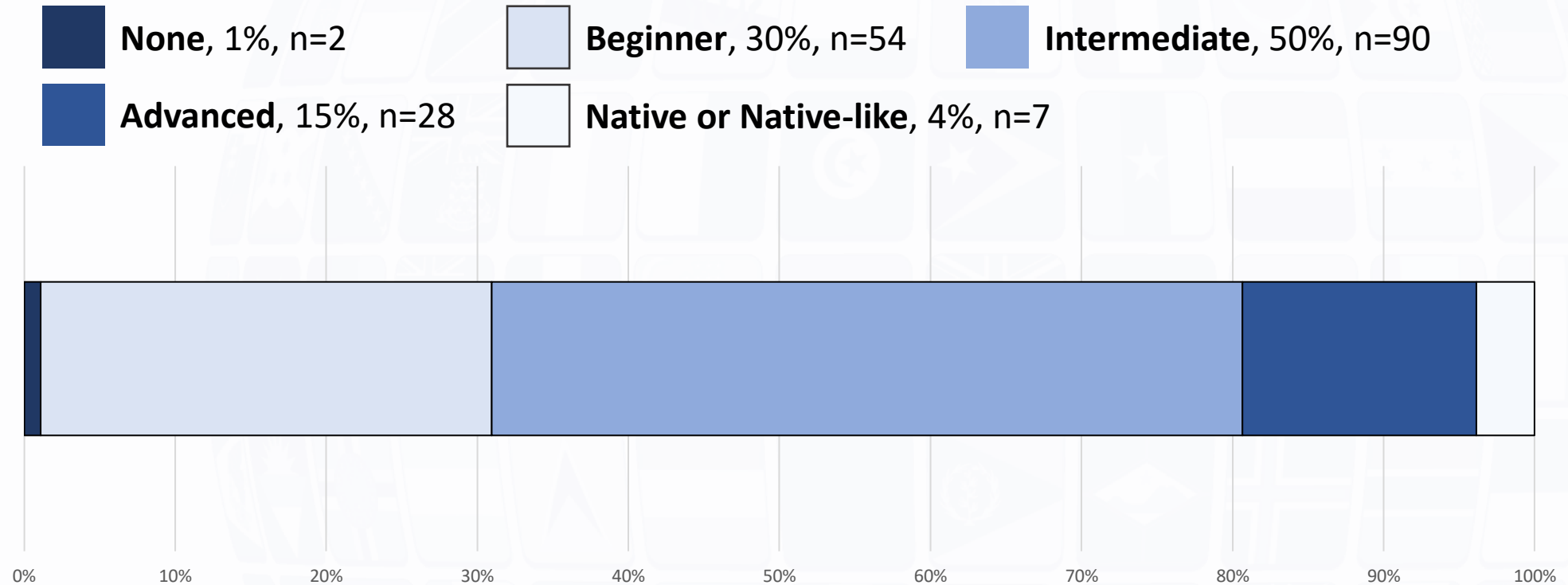


The overwhelming majority are native English speakers

All responses are self-reported.



ALTs' Japanese ability



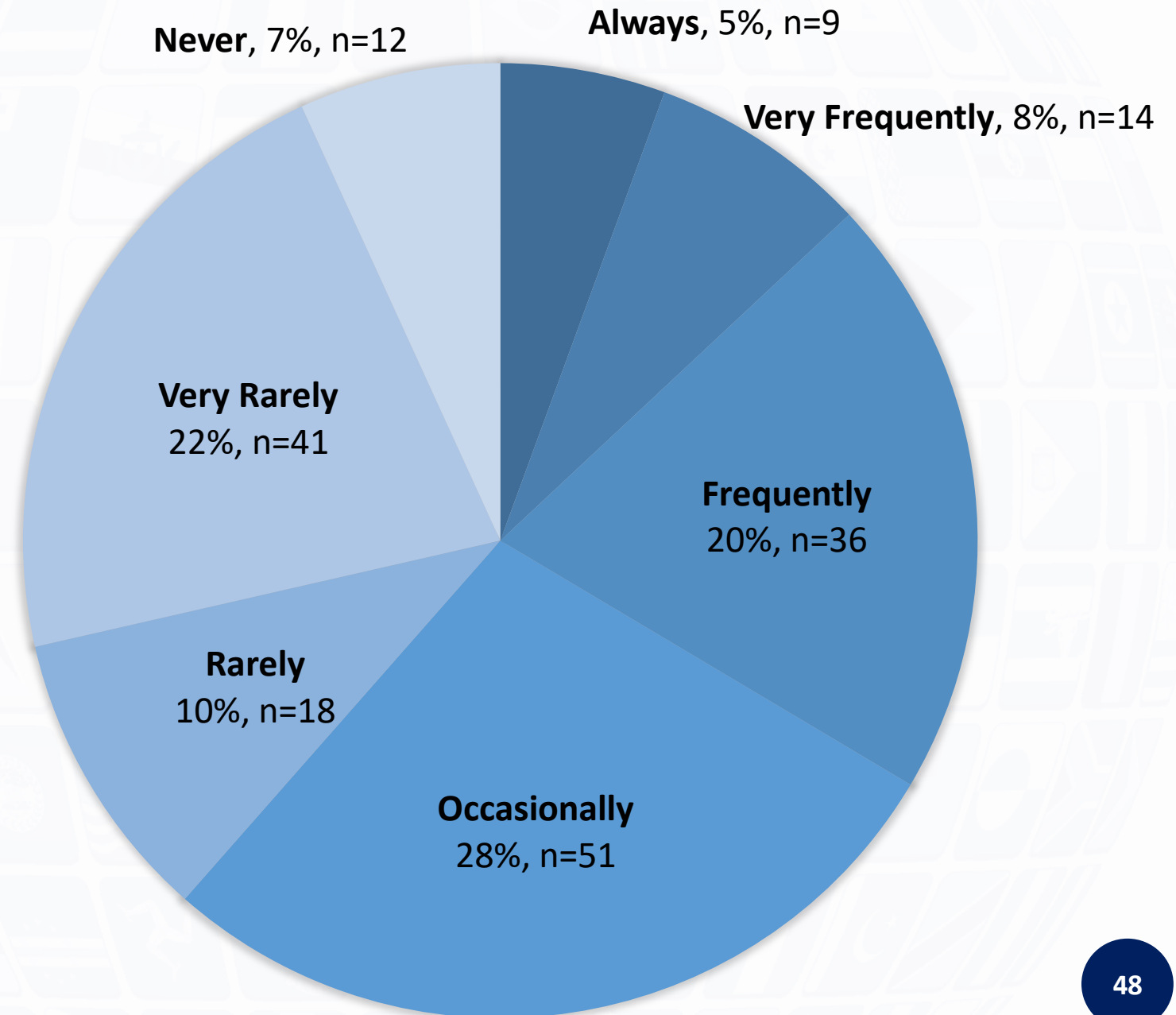
Most ALTs have some level of Japanese proficiency.

All responses are self-reported.



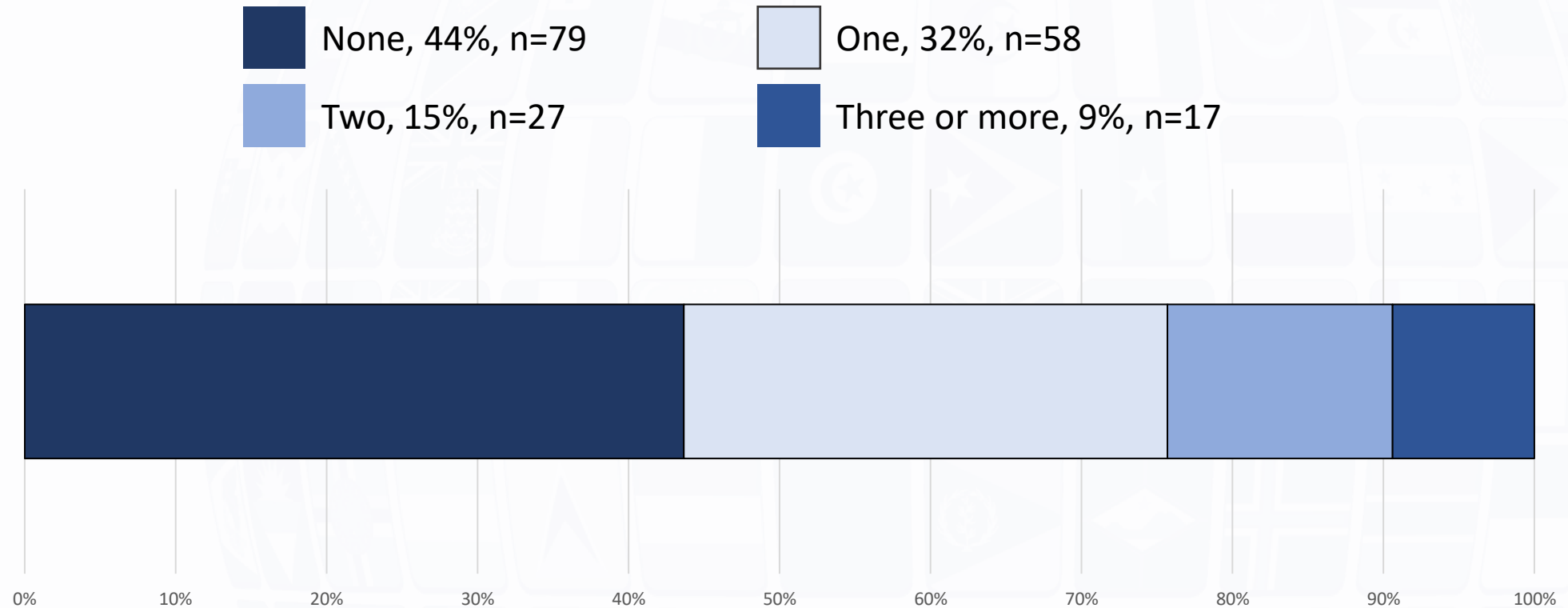
'How often do you use Japanese in your lessons?'

Close to half (48%) answer 'occasionally' or 'frequently'





日本語と英語以外に使用できる言語



The majority of ALTs can use a language other than English and Japanese (57%)

All responses are self-reported.



ALTs' languages

ALTs' native languages varieties other than English (number)

African-American Vernacular English (1), Afrikaans (1), Cebuano (2), Dutch (1), Filipino (4), French (3), German (1), Hawaiian Creole (1), Hebrew (1), Hindi (1), Igorot (1), Ilocano (2), Italian (2), Japanese (2), Kapampangan (1), Kinaray-a (1), Mandarin Chinese (1), Portuguese (1), Romanian (1), Russian (1), Spanish (3), Tagalog (4), Urdu (1)

Major additional languages and self-reported ability (multiple responses included)

Language (number)	Self-reported ability: Number
French (31)	Beginner: 10, Intermediate: 12, Advanced: 6, Native or native-like: 1, Other: Beginner to intermediate (1), Conversational (1)
German (12)	Beginner: 7, Intermediate: 3, Native or native-like: 1, Other: CEFR B2 (1)
Korean (10)	Beginner: 8, Intermediate: 2
Mandarin Chinese (10)	Beginner: 6, Intermediate: 1, Advanced: 1 Other: Dinner table conversation level (1), unspecified (1)
Spanish (45)	Beginner: 21, Intermediate: 13, Advanced: 3, Native or native-like: 4 Other: Beginner, but intermediate listening comprehension (1), Understanding (1), unspecified (1), high beginner (1)

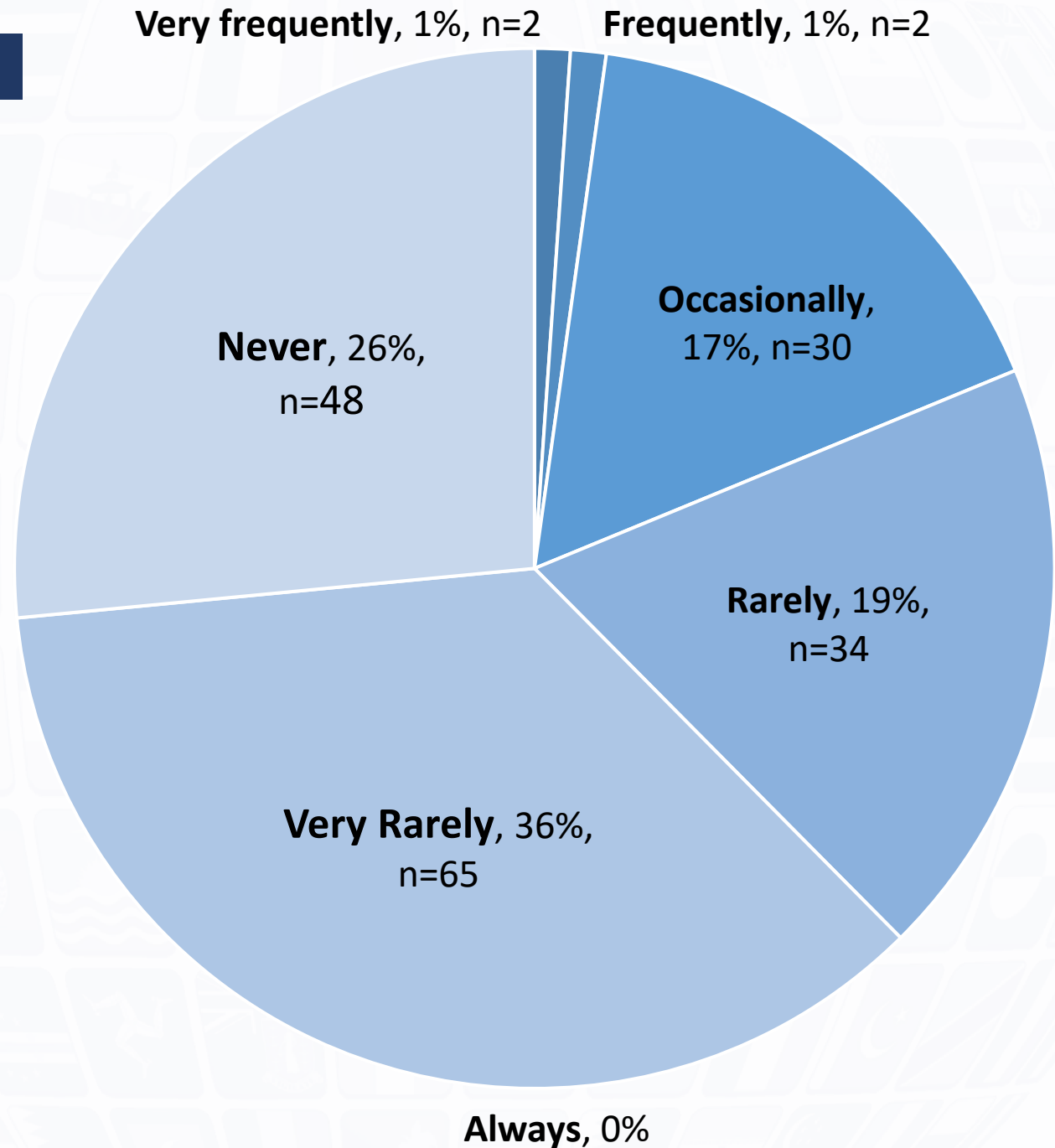
Other additional languages of ALTs (multiple responses included)

Language (number) [Self-reported ability: Number]
Arabic (1) [Beginner:1], Ancient Greek (1) [Advanced:1], ASL (3), [Beginner: 1, Other: not specified (1), high beginner (1)], Basque (1) [Beginner: 1], Bikol (1) [Advanced: 1], Cantonese (2) [Beginner: 1, Advanced: 1], Cree (1) [Beginner: 1], Danish (2) [Beginner: 2], Dutch (1) [Advanced: 1], Filipino (1) [Beginner: 1], Haitian Creole (1) [Advanced: 1], Hawaiian (3) [Beginner: 2, Intermediate: 1], Hebrew (3) [Beginner: 2, Other: Biblical Hebrew, beginner (1)], Iloco (1) [Advanced: 1], Indonesian (1) [Beginner: 1], Italian (5) [Beginner: 4, Advanced: 1], Irish (4) [Beginner: 1, Intermediate: 2, Advanced: 1], Kannada (1) [Other: not specified (1)], Khmer (1) [Beginner: 1], Korean (1) [Intermediate: 1], Latin (1) [Advanced: 1], Malay (1) [Advanced: 1], Māori (1) [Beginner: 1], Mongolian (1) [Beginner: 1], Norwegian (1) [Intermediate: 1], Portuguese (2) [Beginner: 2], Romanian (1) [Beginner: 1], Russian (2) [Beginner: 1, Native or native-like: 1], Scots (1) [Native or native-like: 1], Sotho (1) [Intermediate: 1], Swedish (1) [Beginner: 1], Thai (2) [Beginner: 2], Tagalog (1) [Beginner: 1], Vietnamese (1) [Advanced: 1], Other: "3 Chinese dialects, intermediate."



'How often do you include languages other than English or Japanese in your lessons?'

82% say 'rarely,' 'very rarely,' or 'never'





I teach greetings in multiple languages in our lessons about other countries. I also teach the song Feliz Navidad in December. I feel this is too surface level, and I'd like to do more. I wish HRTs would encourage this more too.

他の国についてのレッスンでは、多言語での挨拶を教えています。12月にはFeliz Navidadという歌も教えています。これはあまりにも表面的なことなので、もっとやってみたいと思っています。学級担任ももっと奨励してほしいです。

ALTs want to introduce more linguistic diversity

Foreign language education is caught up in ‘English-only,’ and ALTs full repertoires aren’t being capitalized on in teaching

But, in the commentary to the Course of Study...

It is necessary to take into account the daily life of people who use English and also take into account the daily life of people who use languages other than English. Many people in the world speak languages other than English. Therefore, in order to understand the people in the world, it is important to take into account the daily lives of people who use languages other than English. (文部科学省、 2017c: 134)

**Can we understand people around the world by hiding away languages other than English?
Wouldn’t it be better to make use of all available resources to promote richer learning?**



3. Bilingual ALTs: Issues

Based on interview data with 8 ALTs (ピアース 2021)



Interviewees

Name	Sex	Years ALT	Home country	Native language	Other languages (self-reported level)
May	F	3	Philippines	Tagalog	English (native-level), Japanese (intermediate)
Josh	M	11	United States	English	Japanese (native-level), Romanian, French, Spanish, Korean (beginner)
Célia	F	2	France	French, English	Japanese (intermediate), Spanish (advanced)
Luuk	M	5	The Netherlands	Dutch	Japanese (advanced), English (native-level)
Angel	F	3	Singapore	English	Japanese, Mandarin Chinese (advanced), Korean (intermediate), French (beginner)
Martin	M	22	United States	English	Japanese, French, ASL/JSL (intermediate), Spanish, Italian, Portuguese, Swedish (beginner)
Logan	M	12	Canada	English, Ukranian	Japanese, French (intermediate), German, Spanish (beginner)
Zain	M	5	United States	Italian, English	Japanese, German, Spanish (advanced)

4 General Themes from the Interviews :

- ① English
- ② Other languages
- ③ Culture
- ④ Teacher beliefs



I often participate in conversation models, **trying to show real conversations at natural speed with the teacher.** (Angel)

Small talk is something that has been introduced into the classroom over the last few years. (Josh)

Maybe in the last 10 minutes, the teacher has a piece of paper that for the students to write one key sentence you learnt that day, **but I'm not directly involved in that.** (May)

As in previous studies, TT lessons with ALTs focus on speaking activities

...**I'm trying to get them to understand that there is more than one English language.** For example, sometimes, after I pronounce an English word, I say, "Oh, is that how so-and-so pronounces it?" (Célia)

I often like to tell the children that there **are many different kinds of English and that they shouldn't feel that they have to imitate me and sound exactly like me just because I am American.** (Martin)

Awareness of World Englishes (diversity within the English language).



Sometimes you put a bit of Dutch in there. And then I ask them to think about how they make this 'g' sound. Or sometimes I put in a bit of German, because I can speak German, or French (Luuk).

We get tired of greeting people only in English, so I mix different languages in during greetings. (Célia)

Some ALTs introduce other languages to foster noticing of phonetic characteristics

If there was a lot of content (that the classroom teacher had to cover), teachers probably wouldn't ask such extra questions, they probably wouldn't teach how to count in Tagalog, or how to count in French. **But if they had more time, and if they were more open teachers, they would probably want to teach such things.** Not all of them. As I have said many times, it depends on the teacher. (May)

Sometimes, just a few other languages are in the textbooks. That's why the subject is called 'foreign language activities', when in fact they are often only English classes. But we do have greetings and flags of different countries in the beginning of the textbooks. **But it's still very rudimentary,** though. (Luuk)

- ① **The introduction of other languages depends on the classroom teacher and the content of the textbook.**
- ② **Language diversity in textbooks is superficial.**



Theme: Culture

We talk about Cinco de Mayo and how it is celebrated both in South America and the USA. It's celebrated quite differently. (Célia)

In the *Hi Friends* textbook, there is just a lot of pictures and **not much content**. (Angel)

...The important thing here is that we are there as foreigners. **Helping young children to see that there is a very big world outside of Japan.** And to **help them question what they think they know and realise that foreigners are not all the people they read about in textbooks.** And to increase their interest in other parts of the world, as well as my country. (Angel)

- ① **A little more freedom to introduce other cultures than other languages**
- ② **(As with languages) cultural content in textbooks is superficial.**



Theme: Teacher beliefs

Some Japanese people believe that foreigners are Americans, or that foreigners are white Americans. That is something I would like to see change. (May)

The goal is not to teach English, but to make children strongly interested in learning English in the future. (May)

I read about language acquisition and that the sounds you hear at an early age are very important, otherwise you won't be able to discern certain sounds. So, I think it is better to expose them to the sounds of different languages. (Luuk)

It would be nice to introduce more languages to the students. They don't have to master all of them, but it would really help increase their general knowledge or interest in different languages for when they do want to learn a foreign language (Angel).

I don't think that it's about teaching language. It's about teaching the methods behind learning a language. I think that's what we should be doing. We should be fostering curiosity, we should be fostering language acquisition skills, not teaching the language. Because their brains now are wired to learn how to learn things. We shouldn't just tell them this is a foreign language, it's English, and this is how you say "me" in a different language, but that's what we're doing right now (Zain).

Varying educational beliefs, but a common desire to see more emphasis on linguistic and cultural diversity in addition to modelling English



- ① **Bilingual ALTs are conscious of diversity and want to incorporate more of it.**
- ② **If the homeroom teacher is not proactive in multilingualism and multiculturalism, it is difficult for ALTs to do it alone.**
- ③ **Exposure to multiple languages/cultures often only happens when they are covered in textbooks (textbook-bound).**
- ④ **There is a desire to include more languages/cultures actively, but a lack of knowledge in how to introduce them in an educational way.**

The background of the slide features a stylized globe composed of a grid of small, rounded squares. Each square contains a different national flag, creating a mosaic of global symbols. The globe is centered and occupies most of the frame. A dark blue horizontal bar is positioned at the bottom of the slide, and a white rounded rectangle is overlaid on the left side of this bar, containing the section header.

4. The Significance of ALTs Languages for Teaching



In the 'goals' of the course of study:

- Noticing differences between Japanese and foreign languages
- Developing an understanding of the culture behind foreign language
(文部科学省、2017b p.156)

Having English as the primary foreign language is not a problem, but there is no need to limit lessons to *English-only*



- ① Exposure of young monolinguals to a variety of languages facilitates later language acquisition (Bice & Kroll, 2019)。
- ② 「多様性への興味」、「よく知らないものへの開かれた態度」、「言語を学習する意欲」、「音素の記憶と弁別能力」を育成するのに複数言語を取り入れた「多元的アプローチ」が有効 (Candelier, 2003)。
- ③ Pluralistic approaches are beginning to attract attention in Japanese primary schools... (Oyama, 2019; Oyama & Pearce, 2019).

Pluralistic approaches in TT with ALTs have not yet been sufficiently explored.



What kind of activities could be possible?

- **Cultural aspects: ALTs can introduce non-English speaking cultures and related key words, etc.**
- **Provide information on the use of English in non-English speaking countries (e.g., what are its characteristics, how is it positioned in society, how does it compare with Japan, etc.).**
- ***Linguistic landscape* activities (Melo-Pfeifer & Lima-Hernades, 2020): sociolinguistic considerations through a comparison of linguistic signs and other signage in Japan and ALT countries.**
- **ALTs and homeroom teachers become learners with the pupils and learn about language through a variety of languages**
- **It is possible to think of a variety of activities to acquire meta-linguistic knowledge at the same time as language learning.**



How can the repertoire of bilingual ALTs be utilised?

What are the minimum requirements to introduce ALTs' multilingualism into the classroom?

- ① **Homeroom teachers need to know the background of ALTs (and ensure that they have the opportunities to learn about them).**
- ② **Both classroom teachers and ALTs need to share an understanding of the significance of introducing other languages.**
- ③ **Sufficient time is needed to plan implementation of the classes.**

With sufficient preparation, classes with bilingual ALTs can foster ...

- Noticing differences between Japanese and foreign languages
- Developing an understanding of the culture behind foreign language

(文部科学省、 2017b p.156)

...two birds with one stone?

参考文献

- 大山万容 (2019). 「小学校英語のための教員養成における複言語教育」 *JES Journal* 19, 36–51.
- 狩野晶子・尾関はゆみ (2018) 「小学校ALTから見た小学校外国語活動の現状と課題」 『*JES Journal*』 18, 116–131.
- グロジャン・フランソワ著, 西山教行,(監訳), 石丸久美子, 大山万容, 杉山香織(訳) (2018). 『バイリンガルの世界へようこそ—複数言語を話すということ』 勁草書房
- 上智大学 (2017) 『小学校・中学校・高等学校におけるALTの実態に関する大規模アンケート調査研究：最終報告書』 https://www.bun-eido.co.jp/aste/alt_final_report.pdf
- 杉本均・山本陽菜 (2019) 「日本におけるフィリピン人外国語指導助手 (ALT) の雇用問題—外国青年招致事業 (JET) などを中心に—」 『京都大学大学院教育学研究科 紀要』 65, 179–200.
- ピアース・ダニエル・ロイ (2021). 「小学校の外国語指導助手 (ALT) はモノリンガルか?—単一言語教育に従う複言語話者の位相—」 『言語政策』 17 号
- 松本哲彦 (2020年8月) 「日本における初任英語教員1年目の経験と成長」 2020年度MHB学会 (オンライン開催)
- 文部科学省 (2016) 平成27年度公立小学校における英語教育実施状況調査の結果について
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2016/04/05/1369254_4_1.pdf
- 文部科学省 (2017a) 小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm
- 文部科学省 (2017b) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示)
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/09/05/1384661_4_3_2.pdf
- 文部科学省 (2017c) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説：外国語活動・外国語編
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf
- 文部科学省 (2017d) 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/05/07/1384661_5_4.pdf
- 文部科学省 (2018a) 高等学校学習指導要領 (平成30年告示) https://www.mext.go.jp/content/1384661_6_1_3.pdf
- 文部科学省 (2018b) 平成30年度英語教育実施状況調査 (小学校) の結果 https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm
- 吉村雅仁・アンドレアヤング (2016) 「小学校外国語にかかわる教員研修への複言語主義の導入—その意義と研修モデルの構想—」 『次世代教員養成センター研究紀要』 2, 87–95.
- Bice, K. & Kroll, J. F. (2019). English only? Monolinguals in linguistically diverse contexts have an edge in language learning. *Brain and Language*, 196, 104644. doi: <https://doi.org/10.1016/j.bandl.2019.104644>
- Candelier, M. (2003). *L'éveil aux langues à l'école primaire. Evlang: Bilan d'une innovation Européenne*. Brussels, Netherlands: De Boeck. doi: [doi: doi. org/10.3917/dbu.cande.2003.01](https://doi.org/10.3917/dbu.cande.2003.01)
- Grosjean, F. (2008) *Studying bilinguals*. Oxford: Oxford University Press.
- Grosjean, F. (2010) *Bilingual: Life and Reality*. Harvard University Press
- Kano, A., Sonoda, A., Schultz, D., Usukura, A., Suga, K., & Yasu, Y. (2016). Barriers to effective team teaching with ALTs. In P. Clements, A. Krause, & H. Brown (Eds.), *Focus on the learner* (pp. 74–82). Tokyo: JALT.
- Mahoney, S. (2020). A new era: Non-native English-speaking assistants. *JES Journal*, 20, 210–225.
- Melo-Pfeifer, S. & Lima-Hernandez, M. C. (2020). Apresentação. Paisagens Linguísticas: ideologias, discursos e práticas multilíngues nos espaços sociais. *Domínios de Linguagem*, 14 (4), 1024-1058.
- Oyama, M., & Pearce, D. R. (2019). Promoting bilingualism in Japanese elementary schools: Exploring the possibilities of the awakening to languages approach. *Japan Journal of Multilingualism and Multiculturalism* 25(1), 65–86.
- Pearce, D. R. (2021). Homogenous representations, diverse realities: Assistant language teachers at elementary schools. *The Language Teacher*.